

YMFG NEWS RELEASE

平成 31 年 3 月 22 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

ウニ養殖構想に向けた協議会の設立について

山口フィナンシャルグループ(社長 吉村 猛)は、金融の枠を超えた新たなソリューションの提供を行い、地域の課題解決と活性化を目指しています。

その取組みの一つとして、水産業において課題となっているウニの養殖技術確立と有効活用を目的として、地域の関係者の方と共に協議会を設立することとしましたので、お知らせします。

記

1. 協議会設立の目的

近年、沿岸で海藻が激減する「磯焼け」は生態系に影響を及ぼし、沿岸漁業は大きな影響を受けています。「磯焼け」による天然資源の枯渇は、瓶詰ウニ発祥地である下関に集積する加工企業の原料不足や漁業者の収入減少の原因となっています。

「磯焼け」の発生は温暖化に加え、植食性生物による食害等、様々な要因があるとされています。現状、ウニはその種類によっては、食害種とされ、駆除対象となっており、種類に合わせた活用法を確立・事業化することで、地域の水産業を振興することを目的としています。

そのために、地域ネットワークを有する当社がコーディネーターの役割を果たし、水産関連の組織が集積する下関が地域一体となって取組むため、協議会を設立いたします。

2. 参画先

(官)・下関市

(学)・国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校

(産)・関門港湾建設株式会社

・林兼産業株式会社

・三井物産株式会社

・山口県うに協同組合

・山口県漁業協同組合

(金)・株式会社山口フィナンシャルグループ

3. 第1回協議会

下記のとおり第1回協議会を行います。

(1) 日 時：平成31年3月25日(月) 16:00～

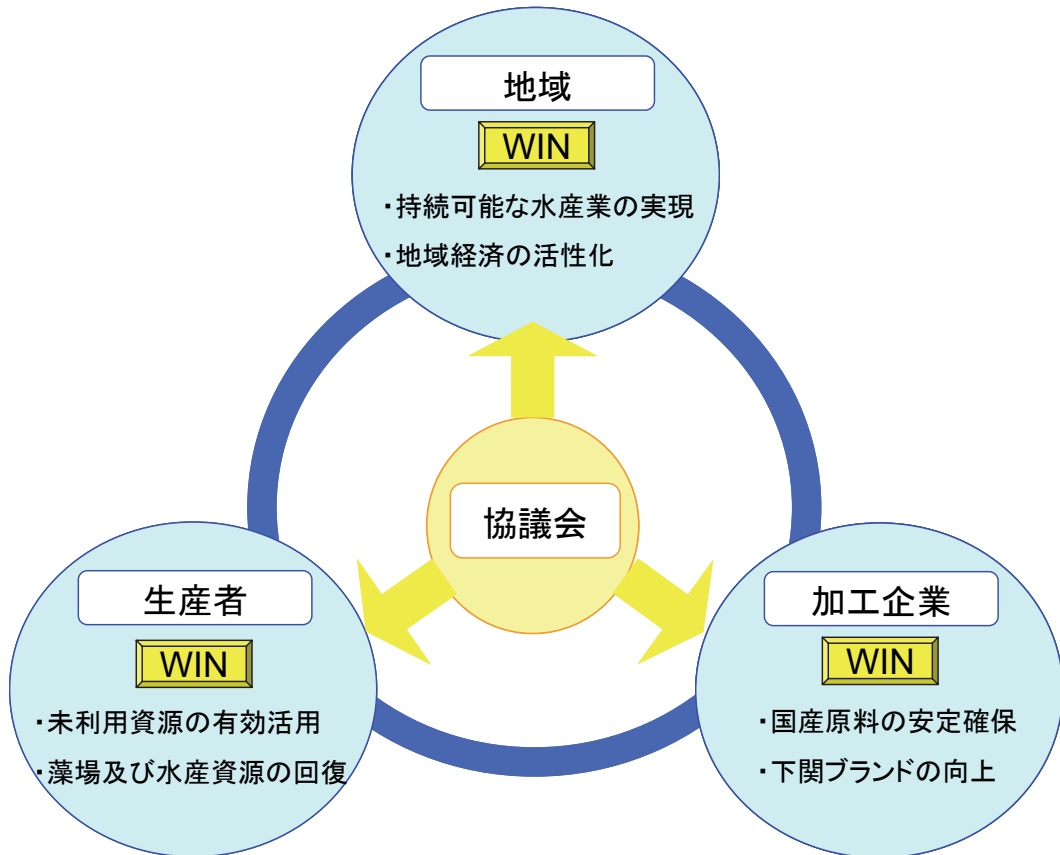
(2) 場 所：シーモールパレス(下関市竹崎町4-4-8)

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ地域振興部 伊藤 高岩 TEL: 083-223-4969

【イメージ図】

生産者、加工企業、地域において3方よしの共通価値を創造し、協議会に参画する地域関係者で「WIN・WIN・WIN」の関係構築を目指します。



【協議会の活動予定】

- ・ 国産原料の安定供給のための養殖技術の確立
 - (1) バフンウニの養殖技術の確立 (「養殖」 稚ウニ～成体までを管理)
 - (2) ムラサキウニの蓄養技術の確立 (「蓄養」 成体の実入りの向上)
- ・ 漁業者の収入向上、海洋環境の保全につなげるための事業モデルの確立
 - (1) 効果的な駆除活動による有効な食害対策
 - (2) 藻場造成と種苗放流が連携した効果的な資源の管理
- ・ 下関ブランドの認知向上
 - (1) 既存商品の更なる付加価値向上と新商品の開発によるブランディング
 - (2) 新たなマーケットを開拓するための効果的なプロモーション
- ・ その他、目的を達成するための活動

以 上